

「夫婦別姓論」の欺瞞 一刀両断！

加地伸行著『間違いだらけの家族観』

産経新聞グループの産経新聞出版は、加地伸行著『間違いだらけの家族観 儒教で読み解く老い・父性・夫婦・死』（定価 1210 円）を発売しました。全国の書店やネットショップ「アマゾン」などでお買い求めできます。

【公式ホームページ】 <http://www.sankei-books.co.jp/>



儒教研究第一人者の名著を緊急復刊。「家族の絆」とは何か、説明できますか？ 東北アジアを知り尽くす碩学（せきがく）が、日本の伝統的家族観を「儒教文化的家族主義」と「キリスト教文化的個人主義」の激突から解説する目からウロコの日本論です。

家制度への憎悪、個人主義への賛美、「父性」への誤解と偏見など、「夫婦別姓論」の欺瞞（ぎまん）を一刀両断。「家族主義」は日本の生き方であり、欧米の物まねでは矛盾が生じることが分かります。

【著者プロフィール】

・加地伸行（かじ・のぶゆき）

昭和 35 年、京都大学文学部卒業。高野山大学・名古屋大学・大阪大学・同志社大学・立命館大学を歴任。現在、大阪大学名誉教授。文学博士。中国哲学史・中国古典学専攻。

著書（編著などを除く）に「加地伸行（研究）著作集」三巻として『中国論理学史研究』『日本思想史研究』『孝研究』ならびに『中国学の散歩道』（研文出版）、『儒教とは何か』『現代中国学』『「論語」再説』『「史記」再説』『大人のための儒教塾』（中央公論新社）、『沈黙の宗教——儒教』『中国人の論理学』（筑摩書房）、『論語 全訳注』『孝経 全訳注』『論語のこころ』『漢文法基礎』（講談社）、『論語』『孔子』『中国古典の言葉』（角川書店）、『「教養」は死んだか』（PHP 研究所）、『マスコミ偽善者列伝』（飛鳥新社）、『令和の「論語と算盤」』『韓非子 悪とは何か』（産経新聞出版）など。

間違いだらけの 家族観

儒教で読み解く老い・父性・夫婦・死

加地伸行

夫婦別姓論の欺瞞を 一刀両断

- 「夫婦別姓」推進派の無知
- 家制度への憎悪、個人主義への讃美
- 「父性」への誤解と偏見
- 老人問題と血のつながり
- 儒教と仏教、儒教的死生観

緊急出版 儒教研究第一人者の名著復刊

